



## 一、相关新法令、新政策

### ● 关于审理公司强制清算案件工作座谈会纪要

【发布单位】最高人民法院

【发布文号】法发〔2009〕52号

【发布日期】2009-11-04

【提示】该纪要对审理公司强制清算案件中涉及的主要问题进行了规定，主要包括：

1. 审理公司强制清算案件应遵循的原则和应注意的问题；
2. 强制清算案件的管辖、案号管理和审判组织；
3. 强制清算的申请，以及申请的审查、受理和撤回；
4. 强制清算案件的申请费；
5. 强制清算清算组的指定、议事机制和成员的报酬；
6. 强制清算中的财产保全；
7. 无法清算案件的审理、强制清算案件衍生诉讼的审理；
8. 强制清算和破产清算的衔接；
9. 强制清算程序的终结、案件中的法律文书；
10. 强制清算程序中对破产清算程序的准用。

【备注】公司清算一般分为解散清算和破产清算。强制清算属于解散清算的一种，是在自行清算不能的情况下启动的一个司法清算程序，通常由公司债权人或股东向法院提出申请。

【相关法令全文】请点击以下网址查看：

关于审理公司强制清算案件工作座谈会纪要

[http://www.chinacourt.org/flwk/show1.php?file\\_id=138988&show\\_all=1](http://www.chinacourt.org/flwk/show1.php?file_id=138988&show_all=1)

最高人民法院民二庭负责人答记者问

<http://www.chinacourt.org/public/detail.php?id=380223>

### ● 中国对外贸易形势报告（2009年秋季）

【发布单位】商务部综合司、国际贸易经济合作研究院

【发布日期】2009-10-30

【法令全文】请点击以下网址查看：

<http://zhs.mofcom.gov.cn/aarticle/cbw/200910/20091006592536.html>

### ● 关于如何理解和认定税收协定中“受益所有人”的通知

【发布单位】国家税务总局

【发布文号】国税函〔2009〕601号

## 一、関連する新法令、新政策

### ● 会社の強制清算案件審理作業座談会概要

【発布機関】最高人民法院

【発布番号】法発〔2009〕52号

【発布日】2009-11-04

【コメント】本概要は、会社の強制清算案件を審理する過程における主な事項について規定を行っており、主に次の内容が含まれる。

1. 会社の強制清算案件を審理する際に遵守すべき原則と注意すべき事項。
2. 強制清算案件の管轄、案件番号の管理及び裁判の実施。
3. 強制清算の申立、及申立の審査、受理及び撤回。
4. 強制清算案件の申立費用。
5. 強制清算の清算組の指定、議事メカニズム及び構成員の報酬。
6. 強制清算における財産保全。
7. 清算できない案件の審理、強制清算案件派生訴訟の審理。
8. 強制清算と破産による清算との関連性。
9. 強制清算手順の終結、案件中の法律文书。
10. 強制清算手順中の破産清算手順に対する準用。

【備考】会社の清算は、通常、解散による清算と破産による清算に分けられる。強制清算は解散による清算の1種であり、独自で清算できない状況において稼働する1つの司法清算手続であり、通常、会社の債権者又は出資者が法院に申立を行う。

【関係する法令全文】下記のURLをクリックしてください。会社の強制清算案件審理作業座談会概要

[http://www.chinacourt.org/flwk/show1.php?file\\_id=138988&show\\_all=1](http://www.chinacourt.org/flwk/show1.php?file_id=138988&show_all=1)

最高人民法院民二庭責任者による記者質問への回答

<http://www.chinacourt.org/public/detail.php?id=380223>

### ● 中国对外贸易形势报告（2009年秋季）

【発布機関】商务部综合司、国际贸易经济合作研究院

【発布日】2009-10-30

【法令全文】下記のURLをクリックしてください。

<http://zhs.mofcom.gov.cn/aarticle/cbw/200910/20091006592536.html>

### ● 租税協定中の「実質的所有者」を如何に理解し、認定するかについての通知

【発布機関】国家稅務總局

【発布番号】国税函〔2009〕601号

【发布日期】2009-10-27

【提示】该通知对有关单位或个人申请享受股息、利息和特许权使用费等条款规定的税收协定待遇时，如何认定申请人的“受益所有人”身份的问题进行了规定。根据该通知：

- “受益所有人”是指对所得或所得据以产生的权利或财产具有所有权和支配权的人，一般从事实质性的经营活动。
- 代理人、导管公司等不属于“受益所有人”。

【备注】导管公司，是指通常以逃避或减少税收、转移或累积利润等为目的而设立的公司。该类公司仅在所在国登记注册，而不从事制造、经销、管理等实质性经营活动。

【法令全文】请点击以下网址查看：

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/9329750.html>

【発布日】2009-10-27

【コメント】本通知は、関係機関又は個人に対し、配当金、利息及びフランチャイズ料等の条項に定める租税協定待遇を受けることを申請する場合に、申請者の「実質的所有者」の身分を如何に認定するかについて、規定を行っている。本通知によると次のとおりである。

- 「実質的所有者」とは、所得又は発生する権利若しくは財産についての所有権及び支配権を取得する者をいい、通常、実質的な経営活動を取り扱う。
- 代理人、導管体等は、「実質的所有者」には該当しない。

【備考】導管体とは、通常、租税を回避し又は軽減し、利益を移転し又は累積する等の目的のために設立された会社をいう。このような会社は所在国で登記登録を行うだけであり、製造、代理販売、管理等の実質的な事業活動は行わない。

【法令全文】下記の URL をクリックしてください。

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/9329750.html>

#### ● 林业产业振兴规划（2010-2012 年）

【发布单位】国家林业局等五部门

【发布文号】林计发〔2009〕253 号

【发布日期】2009-10-29

【实施期限】2010 年—2012 年

【提示】该规划提出，按照《外商投资产业指导目录》和《中西部地区外商投资优势产业目录》，引导外商投资于林产品深加工项目。

【法令全文】请点击以下网址查看：

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/9329965.html>

#### ● 林業産業振興計画（2010-2012 年）

【発布機関】国家林业局等五部門

【発布番号】林計発〔2009〕253 号

【発布日】2009-10-29

【施行日】2010 年—2012 年

【コメント】本計画は、「外商投資産業指導目録」及び「中西部地区外商投資優位性産業目録」に基づき、外商が林産業深加工プロジェクトに投資するよう導くことを打ち出している。

【法令全文】下記の URL をクリックしてください。

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/9329965.html>

#### ● 关于明确国有土地使用权出让契税计税依据的批复

【发布单位】国家税务总局

【发布文号】国税函〔2009〕603 号

【发布日期】2009-10-27

【提示】根据该批复：

- 出让国有土地使用权，契税计税价格为承受人为取得该土地使用权而支付的全部经济利益。
- 通过“招、拍、挂”程序承受国有土地使用权的，应按照土地成交总价款计征契税，其中的土地前期开发成本不得扣除。

【法令全文】请点击以下网址查看：

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/9329766.html>

#### ● 国有土地使用权私下における不動産取得税の計算根拠を明確にすることについての回答書

【発布機関】国家税務総局

【発布番号】国税函〔2009〕603 号

【発布日】2009-10-27

【コメント】本回答書によると次のとおりである。

- 国有土地使用权を私下の場合、不動産取得税の課税額計算価格は、譲受人が当該土地使用权を取得するために支払う全ての経済利益とする。
- 「公開募集、競売、公示」手順を通じて、国有土地使用权を引受ける場合、土地の成約価格合計に基づき、不動産取得税を計算し、その内の土地前期開発コストは控除してはならない。

【法令全文】下記の URL をクリックしてください。

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/9329766.html>

● 关于研发机构采购设备税收政策的通知

【发布单位】财政部、海关总署、国家税务总局  
【发布文号】财税〔2009〕115号  
【发布日期】2009-10-10  
【实施期限】2009-07-01 至 2010-12-31  
【提 示】根据该通知,对外资研发中心进口科技开发用品免征进口税收,对内外资研发机构采购国产设备全额退还增值税。  
【法令全文】请点击以下网址查看:  
<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/9309334.html>

● 研究開発機構の設備仕入租税政策に関する通知

【発布機関】財政部、税関総署、国家税務総局  
【発布番号】财税〔2009〕115号  
【発布日】2009-10-10  
【施行日】2009-07-01 から 2010-12-31 まで  
【コメント】本通知によると、外資の R&D センターが科学技術開発用品を輸入する場合には輸入税を免除し、内資・外資の研究開発機構が国産設備を仕入れる場合は増値税を全額払い戻す。  
【法令全文】下記の URL をクリックしてください。  
<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/9309334.html>

● 关于企业公益性捐赠股权有关财务问题的通知

【发布单位】财政部  
【发布文号】财企〔2009〕213号  
【发布日期】2009-10-20  
【法令全文】请点击以下网址查看:  
[http://qys.mof.gov.cn/qiyesi/zhengwuxinxi/zhengcefabu/200911/t20091105\\_227901.html](http://qys.mof.gov.cn/qiyesi/zhengwuxinxi/zhengcefabu/200911/t20091105_227901.html)

● 企業による株式の公益性を有する贈与の財務事項についての通知

【発布機関】財政部  
【発布番号】財企〔2009〕213号  
【発布日】2009-10-20  
【法令全文】下記の URL をクリックしてください。  
[http://qys.mof.gov.cn/qiyesi/zhengwuxinxi/zhengcefabu/200911/t20091105\\_227901.html](http://qys.mof.gov.cn/qiyesi/zhengwuxinxi/zhengcefabu/200911/t20091105_227901.html)

【注】

- 如果需要了解法律、法规或政策的全文内容或需要相关日文翻译服务,请与我们联系;
- 本栏目所公布的网址通常为官方网址, 如果无法访问, 您可以通过搜索引擎查阅或与我们联系。

【注】

- 法令・政策の全文の内容や相応の日本語訳のサービスが必要な場合には、私共にご連絡ください。
- ご案内する URL は政府筋の公式サイトですが、リンクできない場合は、検索エンジンで検索いただくか、私共にご連絡いただければと思います。

二、相关新信息

二、関連する新情報

● 《最高人民法院关于审理政府信息公开行政案件若干问题的规定》征求意见

日前,最高人民法院公布《最高人民法院关于审理政府信息公开行政案件若干问题的规定(征求意见稿)》,向全社会公开征求修改意见和建议(截止日期为 2009 年 11 月 30 日)。

(里兆律师事务所 2009 年 11 月 06 日整理编写)

● 「政府情報公開行政案件審理の若干事項についての最高人民法院による規定」が意見を募集する

先頃、最高人民法院は「政府情報公開行政案件審理の若干事項についての最高人民法院による規定(意見募集案)」を公布し、一般から修正意見と提案を広く募集している(締切日は 2009 年 11 月 30 日)。

(里兆法律事務所が 2009 年 11 月 6 日付で作成)

● 上海市外商投资企业“2009 年 09 月新设”和“2009 年累计”数据

根据上海市工商局网站提供的统计数据,上海市外商投资企业“2009 年 09 月新设”和“2009 年累计”数据整理如下:

● 上海市外商投資企業の「2009 年 9 月新設」及び「2009 年累計データ」

上海市工商局ウェブサイトによる統計データによると、上海市外商投資企業の「2009 年 9 月新設」及び「2009 年累計」データは以下のとおりである。

信息分类		数据	与去年同期 比增减%
2009年 09月 新设	企业户数	478 户	-19.66%
	投资总额	7.17 亿美元	22.56%
	注册资本	4.89 亿美元	34.34%
2009年 累计	企业户数	52125 户	3.82%
	投资总额	3023.75 亿美元	9.25%
	注册资本	1773.57 亿美元	11.14%

(里兆律师事务所 2009 年 11 月 06 日整理编写)

情報分類		データ	昨年同期との 増減比(%)
2009 年 9 月 新設	企業数	478 社	-19.66%
	投資総額	7.17 億米ドル	22.56%
	登録資本金	4.89 億米ドル	34.34%
2009 年累計	企業数	52125 社	3.82%
	投資総額	3023.75 億米ドル	9.25%
	登録資本金	1773.57 億米ドル	11.14%

(里兆法律事務所が 2009 年 11 月 6 日付で作成)

● 非居民企业在华收入涉税简要分析

根据中国《企业所得税法》规定,企业可以分为居民企业、非居民企业,两者在华纳税义务并不相同,其区别简要列表说明如下:

项目	判断标准	纳税义务简述
居民企业	- 依法在中国境内成立,或者依照外国(地区)法律成立但实际管理机构在中国境内的企业。	- 应当就来源于中国境内、境外的收入纳税。
非居民企业	- 依照外国(地区)法律成立、且实际管理机构不在中国境内,但在中国境内设立机构、场所的,或者在中国境内未设立机构、场所,但有来源于中国境内所得的企业。	- 无论是否在华设立机构、场所,应当就来源于中国境内的收入纳税; - 如果在中国境内设立机构、场所,则发生在中国境外但与非居民企业在中国境内设立的机构、场所具有实际联系的收入应当纳税。

由此可见,中国《企业所得税法》采用了国际通行标准界定居民企业、非居民企业,即,体现了注册地和实际管理机构的综合考虑标准:

1. 注册地标准:依法在中国境内成立的企业属于居民企业。
2. 实际管理机构标准:虽然依照外国(地区)法律成立,但是实际管理机构在中国境内的企业,也属于居民企业;其中,实际管理机构是指对企业的生产经营、人员、财务、财产等实施实质性全面管理和控制的机构。

值得注意的是,上述实际管理机构标准,具有一定的灵活性和不确定性(届时,税务主管机关通常具有一定的自由裁量权),目前实践中也较少以

● 非居民企业在中国的境内收入に係る税金についての分析

中国の「企業所得税法」の規定によると、企業は住民企業、非住民企業に分けることができ、両者の中国での納税義務は異なり、その違いをまとめると下表のようになる。

項目	判断基準	納税義務の説明
住民企業	- 法に照らして中国国内で設立し、又は外国(地区)の法律に照らして成立するが、実際の管理機関は中国国内にある企業。	- 中国国内、国外を源泉とする収入について納税しなければならない。
非住民企業	- 外国(地区)の法律に照らして成立し、且つ実際の管理機関が中国国内にないが、中国国内に機構、場所を設置し、又は中国国内に機構、場所を設置していないが、中国国内を源泉とする所得のある企業。	- 中国に機構、場所を設置しているか否かに係らず、中国国内を源泉とする収入については納税しなければならない。 - 中国に機構、場所を設置し、中国国外で発生したものはあるが、非住民企業が中国に設立した機構、場所と実際の関連性のある収入は、納税しなければならない。

以上から、中国の「企業所得税法」は国際標準を採用し、住民企業、非住民企業を画定し、つまり、登録地及び実際の管理機構を総合的に勘案した基準を体现している。

1. 登録地基準:法に照らして中国国内に設立した企業は住民企業である。
2. 実際の管理機関の基準:外国(地区)の法律に照らして成立したが、実際の管理機関が中国国内にある企業もまた住民企業である。そのうち、実際の管理機関とは、企業の生産経営、人員、財務、財産等に対し、実質的な全面的な管理と統制を行う機構をいう。

注意すべき事項としては、上記の実際の管理機構の基準は、一定の弾力性と不確定性を有し(そのときに、

该项标准来判定居民企业。

除居民企业外的企业，属于非居民企业。在判定非居民企业纳税义务时，如上所述，非居民企业主要应当就来源于中国境内的所得纳税。因此，判定相关收入是否属于非居民企业来源于中国境内的所得，是确定非居民企业在中国是否需要缴纳相关税款的重要标准。

基于此，律师根据中国法律规定，简要列表分析不同收入的确定原则：

收入类型	收入来源判定原则	非居民企业的纳税义务
销售货物收入	- 通常按照交易活动发生地确定，交易活动发生地实践中通常是指销售货物方的营业机构所在地等。	- 非居民企业向中国境内销售（出口）货物，其交易活动发生地通常判定为该非居民企业的营业机构所在地（在中国境外），据此，其收入来源于中国境外，非居民企业通常无需缴纳流转税（请参见备注1）和企业所得税。
提供劳务收入	- 在流转税（营业税及其附加）方面，通常按照提供或者接受劳务的主体的所在地（住所）确定（请参见备注2）。 - 在所得税方面，通常按照劳务发生地确定。	- 非居民企业向中国境内的主体提供劳务取得的收入，通常应当缴纳营业税及附加（请参见备注2）。 - 非居民企业应当结合劳务发生地（是否进入中国境内以及是否构成常设机构等）来判断是否需要缴纳企业所得税，通常只有进入中国境内并构成常设机构的，才需要缴纳企业所得税（请参见备注3）。
转让财产收入 不动产	- 按照不动产所在地确定。	- 非居民企业转让在中国的不动产，通常应当缴纳营业税及其附加、企业所得税（请参见备注4）以及其他可能的财产税（例如土地增值税）等。

税務主管機関は通常、一定の自由裁量権を有する）、現在、実践においてはこの基準をもって住民企業を判定することは少ない。

住民企業以外の企業は、非住民企業になる。非住民企業の納税義務を判定する際に、上記したように、非住民企業は主に中国国内を源泉とする所得について納税しなければならない。したがって、係る収入が非住民企業の中国国内を源泉とする所得であるのかどうかを判定することは、非住民企業が中国で係る税金を納税する必要があるかどうかを確定する重要な基準である。

そこで、筆者は中国法律の規定に基づき、異なる収入ごとの確定原則を簡潔に表にまとめ分析する。

収入の分類	収入源泉の判定原則	非住民企業の納税義務
貨物販売の収入	- 通常、取引活動発生地に基づき確定し、取引活動地は実践においては、通常、貨物販売側の営業機構所在地等をいう。	- 非住民企業が中国国内で貨物を販売（輸出）する場合、その取引活動発生地は、通常、当該非住民企業の営業機構所在地（中国国外）であると判定されることから、その収入の源泉は中国国外であり、非住民企業は、通常、流通税（備考1を参照）及び企業所得税を納付する必要はない。
役務提供の収入	- 流通税（営業税及びその付加費用）については、通常、役務を提供し又は受ける主体の所在地（住所）に基づき確定する（備考2を参照）。 - 所得税については、通常、役務発生地に基づき確定する。	- 非住民企業が中国国内の主体に役務を提供し取得する収入は、通常、営業税及び付加費用を納付しなければならない（備考2を参照）。 - 非住民企業は、役務発生地を勘案し（中国国内に進入したかどうか、及びPEを構成するかどうか等）、企業所得税を納付する必要があるかどうかを判断しなければならない。通常、中国国内に進入し、尚且つPEを構成した場合にだけ企業所得税を納付する必要がある（備考3を参照）。
資産譲渡の 不動産	- 不動産所在地に基づき確定する。	- 非住民企業が中国の不動産を譲渡する場合、通常、営業税及びその付加費用、企業所得税（備考4を参照）及びその他の考えられ得る資産税（土地増地税など）等を納付しなければならない。

	动产	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 在流转税方面,通常按照动产销售地确定。</li> <li>- 在企业所得税方面,通常按照转让动产的主体的所在地(住所)确定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 非居民企业转让的动产如果在中国境内,则通常应当缴纳增值税及其附加;如果动产由境外出口至中国境内,则无需缴纳。</li> <li>- 由于转让动产的主体(非居民企业)在中国境外,因此该动产转让行为通常无需缴纳企业所得税。</li> </ul>
	权益性投资资产	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 通常按照被投资企业所在地确定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 非居民企业转让在华权益性投资资产,通常无需缴纳流转税,但是应当缴纳企业所得税(请参见备注4)。</li> </ul>
股息、红利等权益性投资收入	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 按照分配所得的企业所在地确定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 非居民企业在中国取得股息、红利,通常无需缴纳流转税,通常应当缴纳企业所得税(请参见备注5)。</li> </ul>	
利息收入	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 按照负担、支付利息、租金、特许权使用费的主体的所在地(住所)确定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 非居民企业在中国取得的利息、租金、特许权使用费收入,通常应当缴纳营业税及其附加、企业所得税。</li> </ul>	
租金收入			
特许权使用费收入			
其他收入	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 根据实际情况,适用不同的原则。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 根据不同收入进行判断。</li> </ul>	

	动产	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 流通税については、通常、動産販売地に基づき確定する。</li> <li>- 企業所得税については、通常、譲渡する動産の主体の所在地(住所)に基づき確定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 非住民企業が譲渡する不動産が中国国内にある場合、通常、増値税及びその付加費用を納付しなければならず、動産が国外から中国国内に輸出されたのであれば、納付する必要はない。</li> <li>- 動産を譲渡する主体(非住民企業)が中国国外であることから、この動産の譲渡行為は、通常、企業所得税を納付する必要はない。</li> </ul>
	權益性投資資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 通常、被投資企業の所在地に基づき確定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 非住民企業が中国での權益性投資資産を譲渡する場合、通常、流通税は納付する必要はないが、企業所得税は納付しなければならない(備考4を参照)。</li> </ul>
配当金等の權益性投資收入	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 配当を取得した企業所在地に基づき確定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 非住民企業が中国で投資した後に取得する投資企業の配当金は、通常、流通税は納付する必要がなく、通常、企業所得税は納付する必要がある(備考5を参照)。</li> </ul>	
利息收入	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 利息、リース料、フランチャイズ料を負担し、支払う主体の所在地(住所)に基づき確定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 非住民企業が中国で取得する利息、リース料、フランチャイズ料の収入は、通常、営業税及びその付加費用、企業所得税を納付しなければならない。</li> </ul>	
リース料收入			
フランチャイズ料收入			
その他の收入	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 実際の状況に基づき、異なる原則を適用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 異なる収入ごとに判断を行う。</li> </ul>	

备注:

1. 流转税通常包括增值税及其附加、营业税及其附加、消费税及其附加、以及关税。
2. 修订后的《营业税暂行条例实施细则》(2009年01月01日起施行),将劳务收入来源地(来源于中国境内)的判断标准,由“所提供的劳务发生在境内”(与《企业所得税法》标准一致)修改为“提供或者接受劳务的单位或者个人在境内”。修改后的标准与《企业所得税法》确定的标准不一致,扩大了非居民企业的纳税(营业税及其附加)范围。虽然法律规定较为明确,但是该项规定引起了较大的争议,因此目前实践中,部分地区仍按照原规定,即以“所提供的劳务发生在境内”作为判断是否需要缴纳营业税及其附加的标准。
3. 根据《非居民承包工程作业和提供劳务税收管理暂行办法》(2009年03月01日起施行),

備考:

1. 流通税には、通常、増値税及びその付加費用、営業税及びその付加費用、消費税及びその付加費用、並びに関税が含まれる。
2. 改正後の「営業税暫定条例実施細則」(2009年1月1日から施行)は、役務収入源泉地(中国国内が源泉)の判断基準を、「提供する役務が国内で発生した」(「企業所得税法」の基準に一致)を、「労務を提供し又は受ける組織又は個人が国内にある」と改めた。改正後の基準は、「企業所得税法」に確定する基準と一致せず、非住民企業の納税(営業税及びその付加費用)範囲を拡大した。法律の規定は相対的に明確であるが、この規定は大きな論議を呼ぶこととなったため、現在、実践においては、一部の地区は、原規定の「提供する役務が国内で発生した」ことを営業税及びその付加費用を納付する必要があるかどうか

非居民企业在中国境内提供劳务取得的收入，在缴纳企业所得税时，通常按纳税年度计算、分季预缴，年终汇算清缴，并在劳务合同履行完毕后结清税款（实践中，较为常见的简便操作方式是通过核定利润的方式计算企业所得税，并由付款方代扣代缴）。

4. 转让财产收入，通常以收入全额扣除财产净值后的余额为应纳税所得额，并据此计算缴纳企业所得税（10%的预提所得税）。
5. 根据《企业所得税法》（2008年01月01日起施行），从2008年01月01日起，非居民企业在中国取得的股息、红利等权益性投资收入，以收入全额为应纳税所得额，并据此计算缴纳企业所得税（10%的预提所得税）。

综上所述，中国法律对非居民企业收入进行了区分，并确定了非居民企业在流转税、企业所得税等方面不同的纳税义务。因此，非居民企业应当区分不同类型的收入，并据此判断是否需要在中国缴纳流转税和企业所得税等，以履行合法的纳税义务，并避免承担不必要的税负。此外，值得注意的是，由于非居民企业在中国收入往往涉及其所在国和中国两国的监管，因此，也有必要关注其所在国和中国之间是否签署了相关税收协定，以及税收协定是否有特殊的规定。

备注：请点击以下网址，查看相关法令的全文内容：

《企业所得税法》

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/8312662.html>

《企业所得税法实施条例》

<http://www.chinatax.gov.cn/n480462/n480513/n480902/7163829.html>

《营业税暂行条例》

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/8527032.html>

《营业税暂行条例实施细则》

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/8729458.html>

《非居民承包工程作业和提供劳务税收管理暂行办法》

[http://www.gov.cn/flfg/2009-02/20/content\\_1237602.htm](http://www.gov.cn/flfg/2009-02/20/content_1237602.htm)

（里兆律师事务所 2009年11月06日整理编写）

を判定する基準としている。

3. 「非住民請負工事作業及び役務提供租税管理暫定弁法」(2009年3月1日から施行)によると、非住民企業が中国国内で役務を提供し取得した収入は、企業所得税を納付する際に、通常、納税年度に基づき計算し、四半期ごとに前払いし、年度終了後の確定申告において仮納付した企業所得税の実際の過不足を調整し、尚且つ役務契約の履行が完了した後に税金を精算する(実践においては、よく見かけられる簡便なオペレーション方法は、利益査定的方式を通して企業所得税を計算し、尚且つ支払い側が源泉徴収するというものである)。
4. 資産譲渡の収入は、通常、収入の全額から資産の帳簿価額を差し引いた残額を課税額とし、尚且つこれをもとに企業所得税(10%の未払所得税)を計算し納付する。
5. 「企業所得税法」(2008年1月1日から施行)によると、2008年1月1日から、非住民企業が中国で取得した配当金等の権益性投資収入は、収入全額を課税所得額とし、尚且つこれをもとに企業所得税(10%の未払所得税)を計算し納付する。

以上から、中国の法律は、非住民企業の収入を区分し、尚且つ非住民企業の流通税、企業所得税等の方面での異なる納税義務を確定している。したがって、非住民企業は異なる分類の収入を区分し、尚且つこれをもとに中国で流通税及び企業所得税等を納付する必要があるかどうかを判断することで、適法な納税義務を履行し、且つ余計な税金負担を回避しなければならない。また、注意すべき事項として、非住民企業の中国での収入はその所在国と中国の両国の監督管理を受けることがあるため、その所在国と中国との間で係る租税協定が締結されていないかどうか、及び租税協定に特殊な規定がないかどうかに関心を払う必要もある。

備考：関係する法令の全文の内容をご覧になる場合は、下記のURLをクリックしてください。

「企業所得税法」

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/8312662.html>

「企業所得税法实施条例」

<http://www.chinatax.gov.cn/n480462/n480513/n480902/7163829.html>

「營業稅暫定弁法」

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/8527032.html>

「營業稅暫定條例實施細則」

<http://www.chinatax.gov.cn/n8136506/n8136593/n8137537/n8138502/8729458.html>

「非住民請負工事作業及び役務提供租税管理暫定弁法」

[http://www.gov.cn/flfg/2009-02/20/content\\_1237602.htm](http://www.gov.cn/flfg/2009-02/20/content_1237602.htm)

（里兆法律事務所が2009年11月6日付で作成）